

11月の予定

2019年10月9日
野毛山幼稚園

主 題	共感する
ねがい	秋の実りの豊かさや美しさにふれ、神さまに感謝する。 友だちとアイデアを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びこむようになる。 様々な人の働きに関心をもち、身近に感じる。 好きな絵本お話が伝わり、イメージが広がり友だちと共感しながら過ごす。

聖句

同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして

フィリピの信徒への手紙2章2節

今月の聖書の言葉はパウロの言葉です。ここでパウロが言っている「思いを一つにして」とは「同じように思う」ということです。と言ってもすべてが同じになるということではなく、「イエスさまの思いを持って心を一つにする」ということです。

「同じ思い」とは意見や個性や物の考え方が全く同じになるということではなく、また、画一的な考えや均質化をおしつけることでもありません。

目的と動機が同じになることであり、そのためにみんながお互いを尊重し合い、協力し合い、助け合っていくということではないでしょうか。

今月の聖書の箇所すぐ後ろ3節には「利己心や虚栄心からではなく、へりくだって他者を優れたものとする」とあります。

私たちはそれぞれに神さまから賜物をいただいています。自分を誇ったり、他者をうらやんだり、また逆に他者を見下したりするのではなく、イエスさまに目を向け、イエスさまの思いを知ってイエスさまを基として生きていくことが大切であるとパウロは教えてくれています。

＜パウロ＞

パウロははじめ「サウル」という名でキリスト教徒を迫害する者でしたが、復活のイエスさまに会い、回心しそれまでの生き方と180度転換しました。使徒パウロがいなかったらキリスト教はここまで世界に広まっていなかったのではないかとされます。



予 定

日	曜	予 定	備 考
1	金	2020年度入園受付	休 園
3	日	文化の日	休 園
4	月	振替休日	休 園
6	水	11月誕生会	
8	金	保育講演会 浜田桂子先生	
14	木	感謝祭礼拝 (年中・年少親子)	両日とも9時20分集合 礼拝堂にて
15	金	感謝祭礼拝 (年長親子)	
23	土	勤労感謝の日	休 園
25	月	アドヴェント礼拝 第1	園児のみ
26	火	アドヴェント礼拝 第1 クリスマス親子工作	9時20分集合 詳細後日

今年のアドヴェント(クリスマスを待つ期節)は12月1日(日)から始まりますが、幼稚園では1週間早くアドヴェントを迎えます。

歯みがき指導

12	火	歯科検診	年長さくら組・年少アネモネ組
19	火	歯科検診	年中たんぽぽ組

年 長(さくら組)	年 中(たんぽぽ組)	年 少(アネモネ組)
相手の意見を取り入れながら遊ぶ。	思い切りからだを動かして遊ぶ。	楽しく歌ったり、楽器遊びをしたりする。
自分の意見を相手にわかるように伝える。	みんな一緒にの楽しさを知る。	簡単なルールのある遊びを楽しむ。
役割を持ってさまざまな活動に取り組む。	身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感じる。	友だちと一緒に楽しむ。
秋の自然に触れ、変化の美しさや不思議さに気づき、そこにある神さまの力を知る。 わたしたちのまわりには、私にのために働いてくださっている方がたくさんいることを知る。	自然の恵みに感謝する。	身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感じる。
感謝の気持ちを持つ。	わたしたちのために働いてくださっている方々を知り、ありがとうの気持ちを持つ。	わたしたちのために働いてくださっている方々を知り、ありがとうの気持ちを持つ。
感謝祭の礼拝を心から行う。	ありがとうが心から言える。	何かしてもらった時はありがとうが言える。
神さまからの最大の贈り物イエスさまのお誕生をどのように迎えるかを考える。	感謝祭の礼拝を心から行う。	感謝祭の礼拝を心から行う。
アドヴェントを迎えるためにどうするか考える。	絵本やお話を読んで、喜んだり、関心を持ったりする。	たくさんの本や紙芝居に親しむ。
楽しく歌ったり、踊ったりする。	たくさんの本や紙芝居に親しむ。	クリスマスはどんな日かを知る。
たくさん本に親しむ。	クリスマスはどんな日かを知る。	クリスマスの本を見たり歌を歌ったりする。
	クリスマスの準備を少しずつ始める。	
	クリスマスの本を見たり歌を歌ったりする。	

